

「平成 28 年度 第 2 回 KANSEI “感性”サロン」開催報告

～ 感性を活かしたものづくり -感性×共創- ～

主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所中国センター 公益財団法人ちゅうごく産業創造センター
後援：中国経済産業局、広島県、福山市、広島大学感性イノベーション研究推進機構（COI）、
（一社）中国地域ニュービジネス協議会、（独）中小企業基盤整備機構中国本部、日本感性工学会、
（一社）日本人間工学会

【概要】

当センターは、国立研究開発法人 産業技術総合研究所中国センターとの共催で、「平成 28 年度第 2 回 KANSEI “感性”サロン」を福山市で開催し、大学や企業などから 84 名が参加しました。

第 1 部では、製品開発において、関係者が知識やアイデアを持ち寄り議論する過程を、時系列的に「見える化」することで思考過程の共有・理解を支援する DBM（デザイン・ブレイン・マッピング）について、産業技術総合研究所の手塚 明氏に、また、山口県での地域企業や市民と連携したデザインや工芸産地の振興の取り組みについて、山口県産業技術センターの水沼 信氏にご講演をいただきました。

第 2 部では、中国地域質感色感研究会での、感覚的であいまな部分を科学的に計測・分析し、感性に富み付加価値の高い魅力的な商品開発やサービスの向上につなげる活動紹介として、人間工学等の観点から取り組む手持式電動工具の人体負荷低減、高齢者の歩行を支援し災害時にも活用可能なウォーキングスティックの開発、色感や光学特性の視点から釣糸の視認性を定量化する取り組みについてご紹介しました。

その後ソフトドリンクとスナック菓子による立食形式でのカフェ・サロン（交流会）を開催し、講演者、発表者を交え参加者で活発な情報交換を行いました。

【日時・会場】 平成 29 年 2 月 14 日（火） 13:30～17:00（受付 13:00～）
福山市ものづくり交流館 エピコ RiM 9 階スタジオ A（広島県福山市西町 1-1-1）

【プログラム】

≪ 講演 ≫

『感性の共創・UX デザインを促す製品開発

～関係性デザイン議論共有ソフトウェア DESIGN BRAIN MAPPING と手法化～』

産業技術総合研究所 製造技術研究部門 総括研究主幹 手塚 明 氏

『参加のデザイン ～山口県での取り組み～』

山口県産業技術センター 企業支援部 デザイングループリーダー 水沼 信 氏

≪ 研究発表 ≫

中国地域質感色感研究会の紹介

（公財）ちゅうごく産業創造センター

『手持式電動工具の人体負荷低減』

リョービ株式会社 住建機器本部 技術部 古賀 薫 氏

『歩行支援器具ウォーキングスティックの開発』

株式会社小川長春館 総合企画部長 菅原 規之 氏

『釣糸の視認性評価について』

株式会社サンライン 製造本部開発部 係長 小川 貴之 氏

≪ カフェ・サロン ≫

ソフトドリンクとスナック菓子による立食形式での情報交換会（無料）

【会場風景】



【事務局の所感】

人は価格や機能だけでモノを買わなくなってきたと耳にします。ユーザーの感性、期待をモノづくりの企画段階から取り込み、魅力的で付加価値の高い商品・サービスの開発を行うためには、企画・設計・製造・営業・デザインなどの各部門がしっかり連携してモノづくりをすることが大切です。

今回、各部門間の連携を支援する手法や、山口県内や当研究会での具体的な取り組み事例についてご紹介しましたが、感性サロンでの活発な質疑や、たくさんの方に参加していただいたカフェ・サロンでの熱心な情報交換の様子から、中国地域の「ひとあじ違うものづくり」への関心は高いと実感しました。

今後も、魅力的で付加価値の高い商品・サービスの開発に参考となる最新情報を提供して参ります。